

学校飼育動物 のかいかた (チャボ・ニワトリ編)



長野県動物愛護センター
ハローアニマル

〒384-0041小諸市大字菱平字前新田2725

TEL.0267(24)5071

FAX.0267(26)3282

チャボ・ニワトリのからだ

チャボは5年、ニワトリは10年生きている。
毎日よく観察して、正しい様子を覚えておこう。

め
顔の両側についてよく見える。

とさか
ヒフが厚くなったもの。
ほそい血管が多いから赤く見える。

はね
種類によっていろいろな形や色がある。
空を飛ぶことはできない。
1年に1回抜けかわる。

くちばし
食べ物をついばむのに便利なのにとがっている。
歯がないから、食べ物をかまずにのみこむ。

にくだれ
あごの下にあって、とさかと同じくヒフが厚くなったもの。

お腹の中
食べたものを一時ためておく袋(そのう)と、砂の入った胃(さのう)がある。

体温は、40～42。



足の指
4本あり、すどい爪がある。

けづめ
上を向いていて、ケンカをするとき使う。

オスは、人間にいかくの行動をとることもある。



オスとメスの見分け方

おとなのオスは、とさか・にくだれが大きく、羽もりメスは、生まれてから4ヶ月で大人になり、卵を産み始める。

オス



メス



チャボ・ニワトリの たべもの

おもにニワトリ用配合飼料をあげよう。

このほかにやさいなどをあげてもよい。

ニワトリ用配合飼料
必要な栄養を考えてつくられているニ
ワトリ用配合飼料を使おう。
1日朝夕2回与えよう。



かきちらす性質があ
るので大きめの入れ
ものがよい。

入れものの周囲はふんで汚れ
やすいから、よく掃除をしよう。

水
毎日とりかえよう。
入れものをふんでひっきりかえすことがある
ので、こぼれないくふうをしよう。
水と配合飼料を交互に口に運ぶので、並べ
ておくとよい。



かまずにのみこんだ食べ物を、
胃の中でくだくために砂も食べる。

あげてはいけないもの

ドッグフードなど高タンパクなものを与えすぎると、
病気になりやすい。

チャボ・ニワトリのおうち

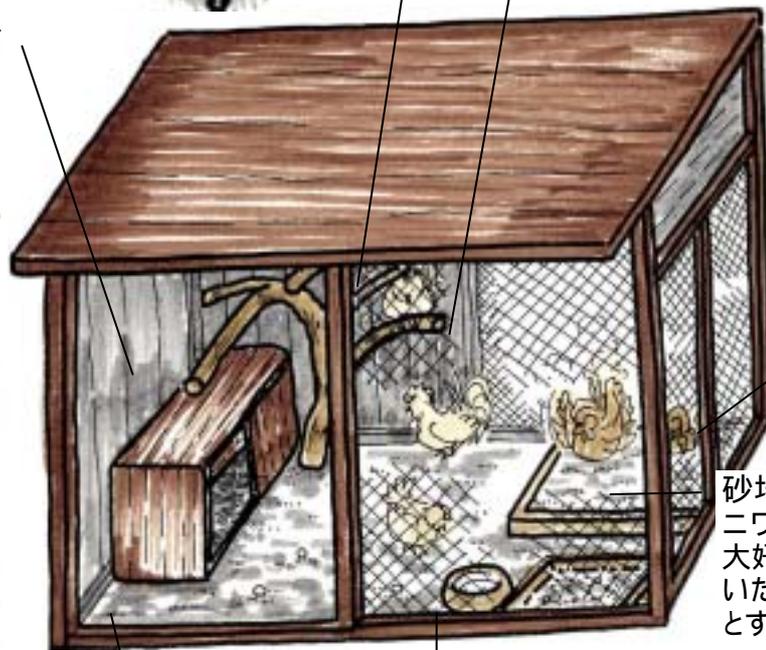
オスどうし・メスどうしの中で順位がはっきり決まっている。
弱ってくると、他のチャボにつつかれて死んでしまうので、分ける必要がある。
飼育は、オス1羽に対してメス4～5羽が適当。



アミ目は、細かいものを使い、すき間がないようにしよう。
野鳥が病気を運ぶことがあるので入れないようにしよう。

とまり木は、床から1m、壁から30cmはなして取り付けよう。
とまり木の下は、チャボのふんで汚れやすいのでよく掃除しよう。

卵をうむための木箱を置き、ワラなどを入れよう。
また、オスの鳴き声が迷惑になる場合は、夕方天井の低い巣箱に入れておけば朝鳴くことができない。



飼育小屋にはカギをかけよう。

砂場をつくろう。
ニワトリは、砂浴びが大好き。砂で体についた虫(寄生虫)を落とす。



床土のままでよい。
広さは10羽に対して畳5枚くらいがよい。

食べ物と水の入れものは近くにおく。



ニワトリは、暑さに弱いので夏は陽よけを設置し風通しを良くしよう。
また、せまい所にたくさんのニワトリを飼うと、ケンカをしてケガをしたり病気になりやすくなるので注意しよう。
飼育小屋のふんなどが舞い上がって、人間が吸い込むことがあるので、こまめに掃除しよう。

チャボ・ニワトリの あかちゃん（ひよこ）

チャボのオスとメスをいっしょにしておくと、うまれた卵はあたためるとひよこになる。卵が7～10個たまると、メスは卵をあたためはじめる。卵は21日でふ化する。増やしたくない場合は、毎日卵をとろう。

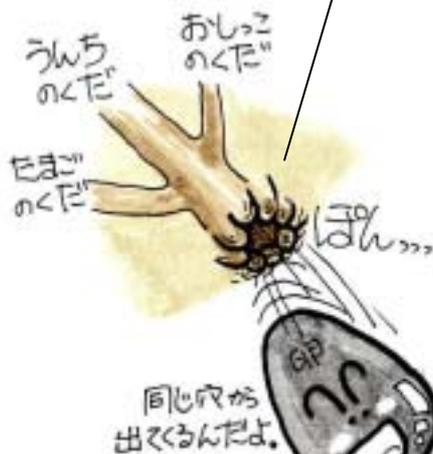
卵をかえすなら、卵をうむ箱（木箱など）を用意してあげよう。卵をあたためはじめたら近づかないようにしましょう。



ひよこは、卵の中から自分でカラを割ってでてくる。

自分で割らんだよ

印歯



卵は、メスのおしりの穴からうまれてくる。

おとなの羽は、水をはじいて体の中まではぬれない。



ひよこは、水にぬれると体温が下がってしんでしまうから、水の入れものは浅いものにしよう。